

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	乗用車販売業 (営業担当)	販売量の動き	・メーカーのキャッシュバックキャンペーンに加え、販売店独自のキャンペーンも行っているため、販売量がかなり増えてきた。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・地元の人の消費、来街者数は大体例年並みに戻ってきたが、週末の県外からの来街客はまだ戻ってきていない。このため、特に夜の飲食を中心にこれからも厳しい状況が続く。
	○	商店街（事務局長）	販売量の動き	・今年の4～5月が景気の底と考えており、その頃と比べれば良くなったが、7月中旬以降にまた全国的に感染者数が増加していることから、感染を恐れ、地元客数と売上共に減少傾向にある。Go To Travelキャンペーン開始以降は週末を中心に観光客が増加傾向であるが、観光以外の売上にはつながっていないと感じている。
	○	百貨店（営業管理担当）	お客様の様子	・来客数や売上共に回復の兆しがみられるものの、県内感染者の再発生など第2波に対する懸念もあり安心はできない。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・目下の自粛生活の恩恵を受け、生鮮食品を中心とした家庭内食材料の販売が好調に推移している。
	○	スーパー（人事）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、今後、東京都が飲食店への営業時間短縮要請や独自の緊急事態宣言を発令した場合、経済活動が鈍くなる。しかし、4月末に比べると良い方だと感じる。
	○	コンビニ（店長）	販売量の動き	・客数は前年を割っているが、客単価が上昇してきてトータルで前年を超えてきた。客の購入パターンは変化してきており、来店頻度が減り客単価が増えるといったまとめ買いが主流になってきている。
	○	家電量販店（副店長）	来客数の動き	・全体的には客の来店も多くなり前年以上で推移しているが、商品別では梅雨が長い季節商材の伸びが悪い。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車受注は前年レベルまで持ち直しつつある。
	○	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・新型車を中心に前年並みの受注台数を獲得できている。
	○	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・国や自治体の旅行喚起策が相応の成果を出している。
	○	タクシー運転手	競争相手の様子	・3か月前と比べて、7月の1～2週目は夜の客が少し回復気味でやや良くなったが、その後、3～4週目は新型コロナウイルスの感染が全国的に広がったことで悪くなった。
	○	通信会社（営業部長）	販売量の動き	・販売数について、前月までは前年を下回っていたが、今月に入り前年並みに回復してきた。
	○	競輪競馬（マネージャー）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言は5月に解除となり、3か月前と比べれば、無観客営業から観客入場の営業に戻ってきており、営業時間短縮の要請も解かれつつあるので、徐々に客足も回復の兆しがみえる。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・特別定額給付金の給付や夏のボーナスが支給されたことと、外出自粛が薄れてきたことで大分客が動き始めた。
	○	設計事務所（所長）	来客数の動き	・Go To Travelキャンペーンにより、当地の観光地には客が沢山戻ってきている。
□	商店街（代表者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が発令され、休業要請等による落ち込みが大きかった時期よりは少しだけ良い状態ではある。しかし、新型コロナウイルス感染症の余波が継続しており、客の不要不急な外出が制限されていることで、レジャー産業を営んでいる会社にとっては厳しい状況が続いている。	

□	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・昼間は少しずつ客が戻ってきたが、夜の街関連の客は激減しているまま戻らない。海の日連休期間だけお祭りのように沢山の人が出ていたが、終わるとまた人通りがなくなり、来客も少なくなった。
□	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・回復傾向にあったが、従業員に感染者が発生したため、来客がまた激減している。
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・キャッシュレス・消費者還元事業は終了になったが、意外と影響が少ないように感じる。また、レジ袋が有料化になったが、その影響もないように感じる。
□	スーパー（企画担当）	単価の動き	・自粛解除後も食事材料を中心に買上が順調に進んでおり、外食の自粛などから自宅での食事が増えたままになってると推定できる。また、来店客数については自粛期間前と同等くらいに戻った。
□	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・内食ニーズが継続しており、販売量及び客単価が前年超えで推移している。
□	コンビニ（総務）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客数が依然として前年割れしている。
□	コンビニ（商品担当）	来客数の動き	・外出自粛、レジャーやイベントの縮小が影響している。また、レジ袋の有料化も購買数に影響している。
□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月はバーゲンセール月でもあるし、本来だったらそこそこ良い数字を期待できる時期である。しかし、途中までは平均超くらいで推移していたが、後半に梅雨の長雨の影響で結果的に少し縮小した。
□	家電量販店（店員）	販売量の動き	・特別定額給付金とボーナスで大型家電の販売が継続的に好調である。
□	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・新型車が出たこともあり、振り客の来店が増えてきた。
□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの対策として行った外出自粛や移動制限が緩和され、さらに国や自治体による様々な消費刺激策のお陰で客足が戻りつつある。
□	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・いろいろな施策が展開されているが、感染拡大するなかで、なかなか需要が伸びてこない。
□	通信会社社員	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、プッシュ販売がまだフル稼働でない。
▲	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・定期的に本を購入している客の中には、必要な物を厳選して購入するようになった方がいる。
▲	コンビニ（店長）	お客様の様子	・3か月前の4月よりはまだまだしではあるが、6月の特別定額給付金の給付後のような状況ではなく、新型コロナウイルスの感染者が増加に転じた7月中旬頃からは再び減少傾向となった。
▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・2～3か月前よりは、まだ今の方が少し良い。再び新型コロナウイルスの感染者が増加しており、今後も不透明な状況であることから景気が良くなるとは余り考えられない。
▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが終息に向かうと予想していたが、思いの外長引いている。平日はほとんど客が入らない日が多くなった。
▲	タクシー運転手	来客数の動き	・前月末頃から今月初旬くらいは、夜に飲みに出る人が多少戻ってきたと感じたが、当県で新型コロナウイルスの感染者が再び出てからパタッと夜の人出が止まった。昼間は少しは戻ってきたが、やはり夜が稼ぎ時なので、今の状況は芳しくない。
▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が増えてきて、また客足が遠のいてきた。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・景気低迷のなか、新型コロナウイルスの影響に加え、市街地最大の核店舗が間もなく閉店する。一時的にも人出が期待できるのは残念ながら「閉店セール」しかない。
×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者が出れば繁華街は静まり返るし、感染者が出なければ少し人出が戻ったりで、新型コロナウイルスで左右され続けている。

	×	その他小売 [ショッピング センター] (副 支配人)	お客様の様子	・一旦、来客数は戻りかけたが、7月中旬からの新型コロナウイルス感染者数の急増を受け、また逆戻りしてしまった。
	×	スナック (経営 者)	来客数の動き	・週末や連休に観光客が増えてしまい、感染拡大を止められなくなっている。当店は地元の客がほとんどなので、なじみ客も外出を控えている感じがある。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・外食向けの製品の受注量がやや回復基調になってきている。
	○	電気機械器具製 造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・現状は再生可能エネルギーの発電所が順調であり、景気は良い。
	○	税理士事務所	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が少なくなっており、売上高が向上している。
	□	化学工業 (所 長)	受注量や販売量 の動き	・Go To Travelキャンペーンの開始や人の動きの活発化等で業務用食品、土産、小売などは持ち直しがみられるが、自動車や住宅等の工業製品向けは低調な状態が続いている。
	□	建設業 (経営 者)	競争相手の様子	・新型コロナウイルスは収束すると思われたが、第2波の兆しがみられ、地方でも感染者が増えてきている。同業者や関連業者並びに発注者においても、事業活動や対外活動は行動自粛が復活してきている。業界自体は、新型コロナウイルスの影響が大きくないものの、日常生活、レジャー、外食が制限されてきており、景気が良くなる期待は後退してきた。
	□	建設業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・やはり受注が伸びない。
	□	輸送業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・景気が良くなる要素が何もない。
	▲	繊維工業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・5月は取引先小売店がほぼ閉店していたため、前年比50%弱の売上になったが、6月から地方店、自社のネット通販、ネット販売に注力している取引先小売店が売上を押し上げ、ほぼ前年並みの売上を確保できた。しかし、インバウンド向け小売店は都心、地方共に相変わらず厳しい。新型コロナウイルスの感染が全国に広がっているため先行きは不安である。
	▲	木材木製品製造 業 (営業部長)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響により、受注がダウンしている。新規住宅着工予測も前年比20%弱ダウンの予想が出ている。
	▲	輸送業 (営業)	受注量や販売量 の動き	・取扱物量は5月を底に、移動制限の緩和とともに徐々に回復しつつあるが、前年同時期と比較すると依然として2けた台の落ち込みが続いており、取扱物量の減少に歯止めが掛からない状況にある。外出自粛や休業要請で疲弊した景気の再興を目的としたGo To Travelキャンペーンがスタートしたことを受け、更なる回復を期待するが、先行きは極めて不透明である。
	▲	金融業 (副支店 長)	取引先の様子	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の解除を受けて底は脱したが、まだ感染拡大前の状態には回復していない。
	×	農林水産業 (職 員)	受注価格や販売 価格の動き	・卸売価格は、業務用品目が一時的に回復したものの直近の新型コロナウイルスの感染拡大により需要が低下しており、再び厳しい価格となっている。また、花も相変わらず厳しい販売が続いている。一方、一般野菜は比較的安定した取引となっている。
	×	鉄鋼業 (総務部 長)	受注量や販売量 の動き	・船舶以外の受注が減少している。
	×	一般機械器具製 造業 (経理担 当)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響もあって、海外工場の時短勤務や海外での受注の一部に延期等の動きがある。
×	輸送業 (経理)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により、国内物流の動きは生活必需品以外で在庫調整の動きもあり鈍化している。国際物流の輸出入についても取扱物量が減少しており、業界全体に景気の低迷が反映されている。	

	×	通信業（企画・売上管理）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大、特に第2波の影響により、客も広告に対して慎重になっている。
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	—	—	—
(四国)	□	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大は続いているが、7月の4連休やGo To Travelキャンペーン等により、人の移動頻度が拡大してきている。3密回避策を整えて公共交通や公共施設の運営がなされていることで、緊急事態宣言解除から徐々に景気は回復してきている。しかし、首都圏を中心に再び感染が拡大していることで、観光業に関わる景気は厳しい状況である。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・派遣就業先が見当たらない求職者が、アルバイトや給与の低い契約社員への転職を余儀なくされている。
	▲	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・飲食、サービス、観光業での落ち込みは激しいが、さらに製造業等でも影響を受け始め、全体的に景気が落ち込んでいる。
	▲	職業安定所（求人開発）	周辺企業の様子	・6月の有効求人倍率は1.16倍で、3か月前と比較して大幅に低下しており、前年同月と比較しても低くなっている。また、新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、事業所閉鎖や事業所縮小等による人員整理を実施する事業所が出てきている。
	▲	民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・ホテルやトラベル関係、医療系（特に医療事務）の新卒者向けの求人がかなり減っている。3月頃の求人についても取り下げる企業も数社あり、求職者に対して求人数が不足している状況である。
	×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染者の増加に伴い派遣に対する求人が減っている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・広告業界の動向はかなり厳しい状況にある。官公庁のコンペ案件などはあるが、民間は軒並み低調である。
	×	職業安定所（職員）	それ以外	・学校に求人が出ていないから来所したという学生の相談が目立っている。